



アセット・インベスターズ株式会社

(大阪証券取引所第二部、福岡証券取引所 証券コード3121)

2006年9月期 決算説明資料

2006年11月20日 代表取締役社長兼CEO 若山 健彦

目次

経営成績・財務状況の概況	4
1. 業績ハイライト(連結)	5
2. 事業別収益構成(連結)	6
3. 貸借対照表の要旨(連結)	7
4. 財務指標	8
5. 株式指標分析	9
マーチャント・バンキング事業の概況	10
1. マーチャント・バンキング事業の概況 - 企業投資 -	11
2. マーチャント・バンキング事業の概況 - 不動産投資 -	12
3. マーチャント・バンキング事業の概況 - 投資残高状況及び計画 -	13
4. M&A事業の概況 - 国内企業投資の状況 -	14
5. M&A事業の概況 - 海外投資の状況 -	15
6. 国内企業のトピックス	16
7. 海外企業のトピックス	17
8. その他のトピックス	18
ホスピタリティ&ウェルネス事業の概況	19
1.ホスピタリティ&ウェルネス事業の概況	20
07/3期の業績見通し及び中期経営計画	21
1. 07/3期の取り組み-グローバル・マーチャント・バンクの実現に向けて	22
2. 07/3期の見通し	23
3. 中期経営計画(連結)	24
4. 第2フェーズの進捗	25
5. 第3フェーズへの事業戦略	26
6. 当社の海外戦略	27
7. Asset Managers (China) Fundの実績	28



目次

8. Asset Managers (China) Fundの実績～クロスボーダーによる付加価値創造型	29
9. Asset Managers (China) Fund の実績	30
10. Asset Managers (China) Fund の実績	31
参考資料	

経営成績・財務状態の概況

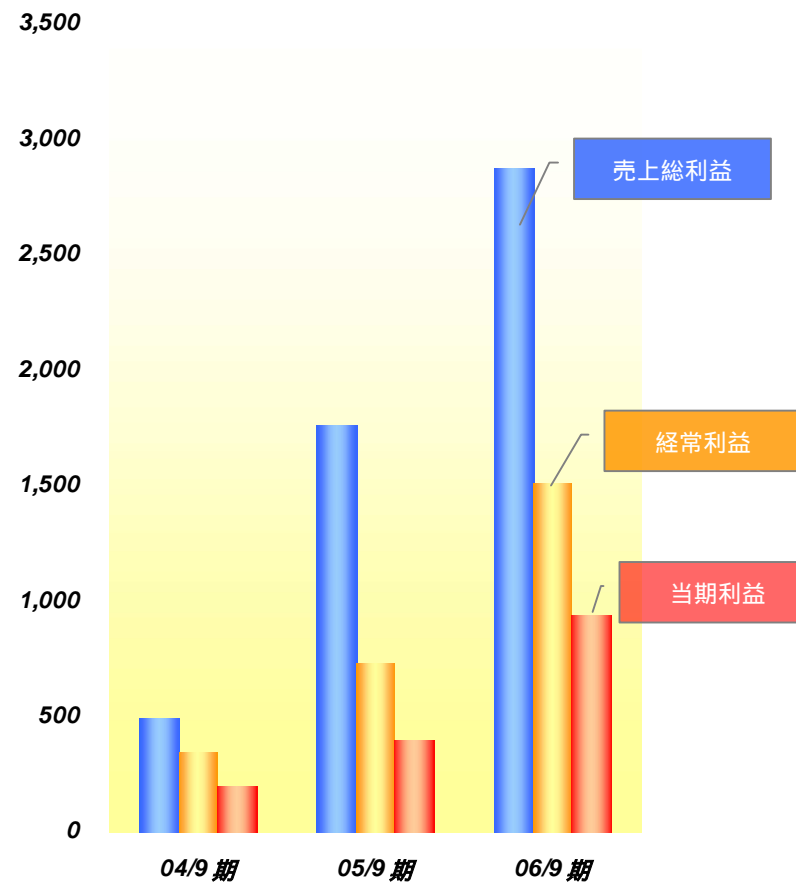
1. 業績ハイライト (連結)

(単位:百万円)

	05/9期	06/9期	前期比	06/3期
売上高	3,352	4,698	+40%	8,264
売上総利益	1,757	2,874	+64%	4,200
売上総利益率	52%	61%		50%
営業利益	770	1,557	+102%	2,094
営業利益率	23%	33%		25%
経常利益	731	1,506	+106%	1,958
経常利益率	22%	32%		23%
当期利益	394	943	+139%	1,159
当期利益率	12%	20%		14%

利益の推移

(単位:百万円)



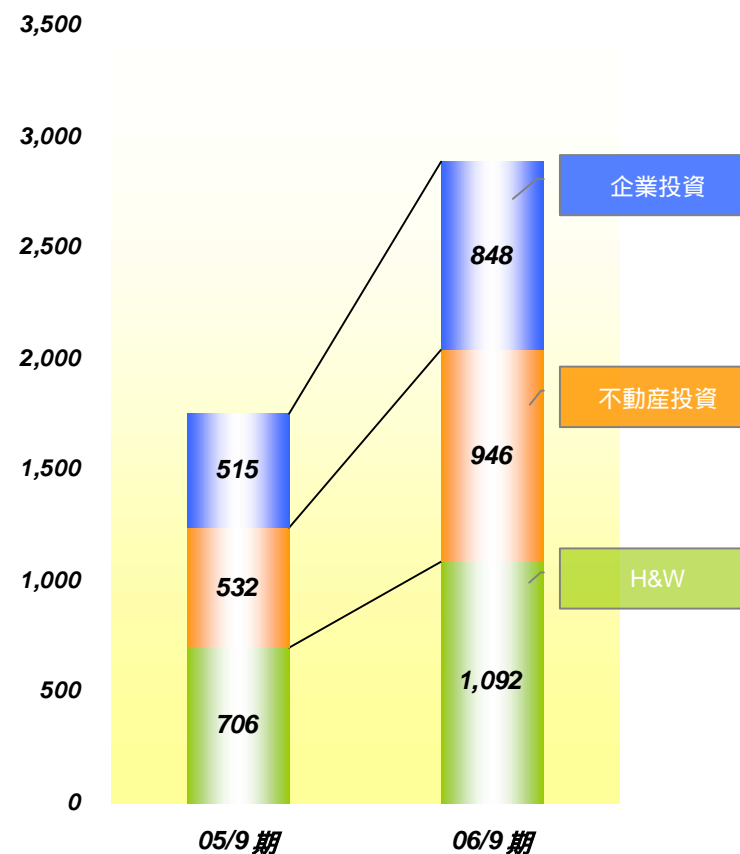
2. 事業別収益構成 (連結)

(単位: 百万円)

	05/9期	06/9期	前期比	06/3期
売上高	3,352	4,698	+40%	8,264
マERCHANT・バンキング事業	2,301	2,958	+29%	5,574
企業投資	809	1,436	+78%	1,770
不動産投資	1,492	1,522	+2%	3,804
ホスピタリティ&ウェルネス事業	1,105	1,692	+53%	2,606
売上総利益	1,757	2,874	+64%	4,200
マERCHANT・バンキング事業	1,047	1,794	+71%	2,617
企業投資	515	848	+65%	1,433
不動産投資	532	946	+78%	1,184
ホスピタリティ&ウェルネス事業	706	1,092	+55%	1,555
営業利益	770	1,557	+102%	2,094
マERCHANT・バンキング事業	838	1,572	+88%	2,228
ホスピタリティ&ウェルネス事業	68	15		130

(単位: 百万円)

売上総利益の推移



*ホスピタリティ&ウェルネス事業の営業利益は、固定資産の費用分を加味した結果としております。

3. 貸借対照表の要旨 (連結)

(単位: 百万円)

	06/3期	06/9期	構成比	前期増減		06/3期	06/9期	構成比	前期増減
流動資産	18,860	20,977	79%	+2,117	流動負債	6,209	7,372	28%	+1,163
現預金	2,775	3,785	14%	+1,010	短期借入金	4,249	5,632	21%	+1,383
企業投資	9,198	10,677	40%	+1,479	1年以内返済予定長期借入金	558	535	2%	23
不動産投資 (有価証券)	4,512	4,759	18%	+247	固定負債	6,318	6,504	52%	+186
棚卸資産 (不動産)	2,105	1,313	5%	792	新株予約権	4,025	4,025	15%	±0
固定資産	4,433	5,656	19%	+1,223	長期借入金	1,326	1,209	5%	117
有形固定資産	3,603	4,386	15%	+783	資本	10,766	12,757	48%	+1,991
無形固定資産	72	58	0%	14	資本金	3,719	3,719	14%	±0
投資その他の資産	757	1,212	3%	+455	資本剰余金	2,916	2,916	11%	±0
資産合計	23,294	26,634	100%	+3,340	利益剰余金	3,864	4,512	17%	+648
					少数株主持分		1,568	6%	+1,568
					その他	267	42	0%	225
					負債・資本合計	23,294	26,634	100%	+3,340

4. 財務指標

		05/9期末	06/9期末	補足
株主資本比率		49.9%	47.9%	経営指標である50%には未達であるが、引き続き財務の健全性は確保
ROE	株主資本経常利益率*1	19.1%	25.6%	経営指標である15%以上は達成
	株主資本純利益率*2	10.3%	16.0%	
収益性指標	売上高粗利益率	52.4%	61.2%	
	売上高営業利益率	23.0%	33.1%	
	売上高経常利益率	21.8%	32.1%	
	売上高当期純利益率	11.8%	20.1%	

*1 株主資本経常利益率 = (中間期経常利益 × 2) / ((前期末株主資本 + 当期末株主資本) / 2)

*2 株主資本純利益率 = (中間期純利益 × 2) / ((前期末株主資本 + 当期末株主資本) / 2)

5. 株式指標分析

	05/9期末	06/9期末	06/3期末 (参考)
発行済株式総数 (千株)*1	39,910	82,291	82,291
1株当純利益(EPS) (円)	10.55	11.64	14.26
1株当純資産(BPS) (円)	225.81	136.06	131
株価 (円)	387	262	385
時価総額 (百万円)	15,445	21,560	31,682
PER (倍)*2	18.3	11.3	27.0
PBR (倍)	1.7	1.9	2.9

*1 発行済株式総数は、株式分割(1:2)及び転換社債の一部転換により増加しております。

*2 PERは、1株当たり当期純利益を年率換算(2倍)して算出しております。

マーチャント・バンキング事業の概況

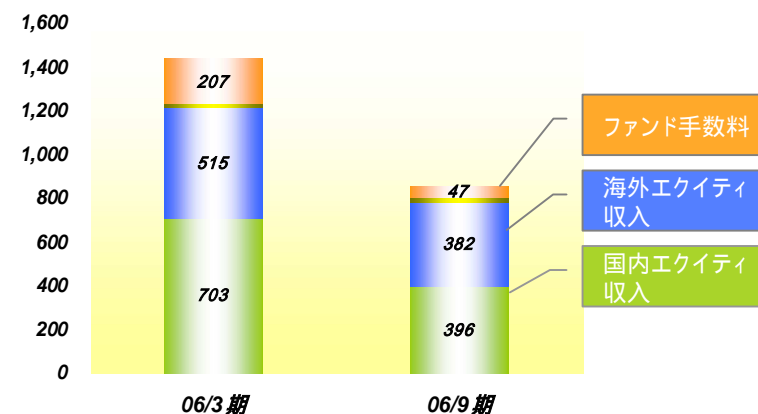
1. マーチャント・バンキング事業の概況

- 企業投資 -

売上総利益の構成

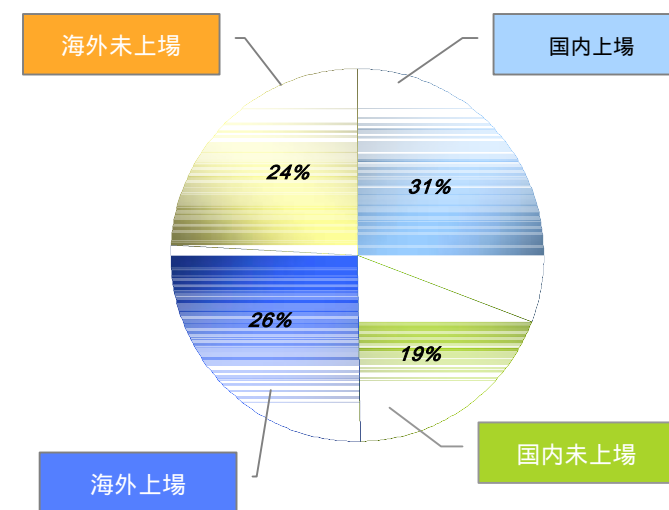
(単位:百万円)

	売上総利益		
	06/3期	06/9期	構成比
投資部門	1,226	801	94%
国内	703	396	47%
エクイティ収入	703	396	47%
手数料	0	0	
海外	523	405	48%
エクイティ収入	515	382	45%
手数料	8	23	3%
ファンド部門	207	47	6%
合計	1,433	848	100%



投資残高の推移

	06/3期			06/9期			
	投資社数	投資額	構成比	投資社数	投資額	構成比	前期比
国内	20	5,717	62%	21	5,302	50%	7%
上場企業	8	3,084	34%	8	3,289	31%	+6%
未上場企業	12	2,633	28%	13	2,013	19%	24%
海外	14	3,481	38%	18	5,375	50%	+54%
上場企業	9	2,582	29%	9	2,786	26%	+8%
未上場企業	5	899	9%	10	2,589	24%	+188%
合計	34	9,198	100%	39	10,677	100%	+16%

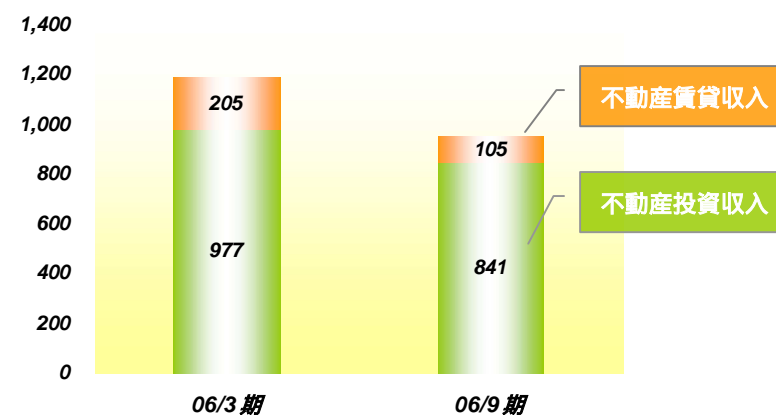


2. マーチャント・バンキング事業の概況 - 不動産投資 -

(単位: 百万円)

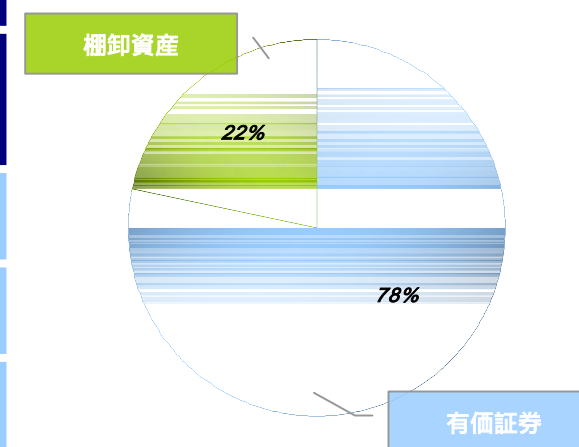
売上総利益構成

	売上総利益		
	06/3期	06/9期	構成比
不動産投資	977	841	89%
不動産賃貸	205	105	11%
合計	1,184	946	100%



投資残高の推移

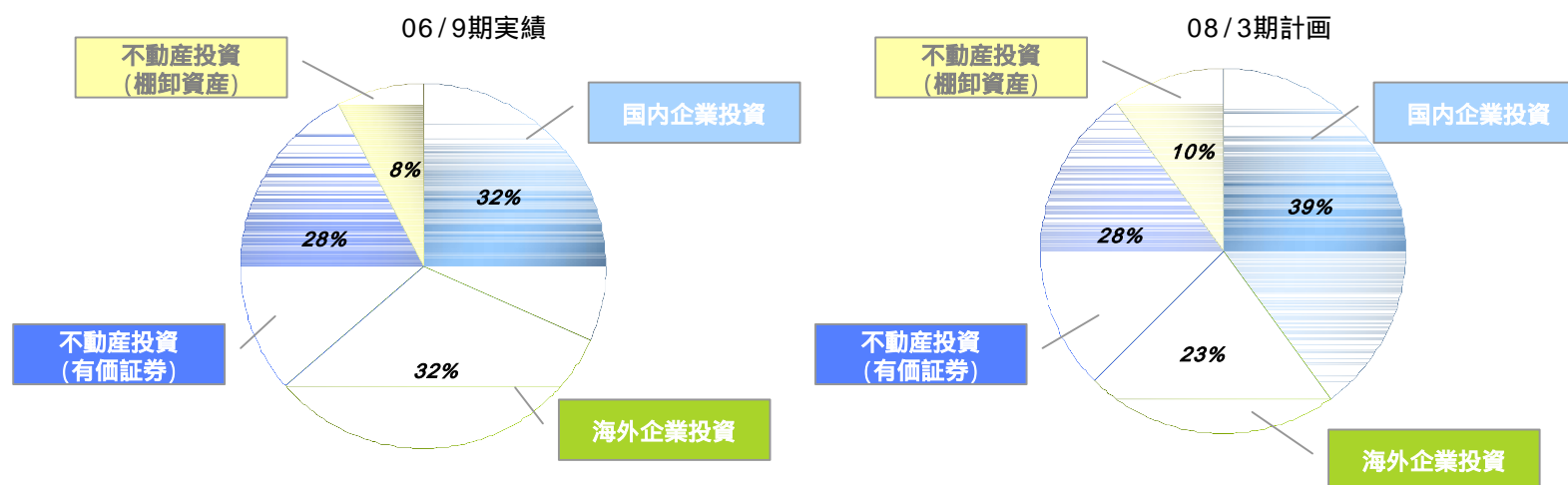
	06/3期			06/9期			
	投資物件・ファンド数	投資額	構成比	投資物件・ファンド数	投資額	構成比	前期比
有価証券	14	4,512	69%	16	4,759	78%	+5%
棚卸資産	7	2,105	31%	4	1,313	22%	38%
合計	21	6,617	100%	20	6,072	100%	8%



3. マーチャント・バンキング事業の概況 - 投資残高の状況及び計画 -

(単位:百万円)

	06/3期実績		06/9期実績		07/3期計画		08/3期計画	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率	金額	比率
企業投資	9,198	58%	10,677	64%	10,000	63%	12,500	63%
国内	5,717	62%	5,302	50%	6,000	60%	8,000	64%
海外	3,481	38%	5,375	50%	4,000	40%	4,500	36%
不動産投資	6,617	42%	6,072	36%	6,000	38%	7,500	38%
有価証券	4,512	68%	4,759	78%	4,000	67%	5,500	73%
棚卸資産	2,105	32%	1,313	22%	2,000	33%	2,000	27%
投資残高合計	15,815	100%	16,749	100%	16,000	100%	20,000	100%



4. M&A事業の概況 - 国内企業投資の状況 -

案件名		種類	投資年月	業種	状況
上場企業	1. 極楽湯 (JQ2340)	事業展開支援	04年3月	温浴施設	スーパー銭湯「極楽湯」の直営・フランチャイズ事業の展開。中期的なチェーン展開の期待感から、株価は近時、堅調に推移
	2. ピーアイジーグループ (JQ9439)	業態転換支援	05年4月	移動体通信販売	移動体通信機器販売からブランド力を有した「美と健康」をモチーフとする企業の集合体を経営する純粋持株会社へ転換
	3. プライムリンク (HC2720)	スポンサー	05年9月	外食	外食フランチャイズ本部事業。当社とGSと共同で増資を実施し財務改善。今後、M&Aを通じて外食業界の再編を目指す。12月に持株会社へ。
	4. AIバリューパートナーズ フリット・キャピタル	投資ファンド	04年11月	アセット・グループの戦略ファンド 伊藤忠商事との共同戦略ファンド	当社株主であるアセット・マネジャーズ、伊藤忠商事との共同ファンド。それぞれの機能・ノウハウを活かし主に上場企業へ投資。
未上場企業	1. イーバンク銀行	IPO投資	-	ネット銀行	国内ネット銀行の最大手。業績も安定的に黒字転換し、早期のIPOを目指す他、投資銀行業務におけるパートナーでもある
	2. 多田建設	会社更生法	05年12月	ゼネコン	リーマンブラザーズグループとの共同案件。不動産ファンドとのシナジーによるバリューアップで再上場を狙う。2006年6月に更生計画終結。
	3. マツヤハウジング	Pre-IPO	06年10月	不動産	大株主である伊田テクノス社より譲受。今後、不動産ファンドとのシナジー効果を図りながら、早期のIPOを目指す
	4. キムラヤ	民事再生法	05年1月	ディスカウント・ストア	百貨店出身者の役員の派遣、エイムクリエイツとの協働により再生中。2005年11月に新橋本店改装し、インポート・ブランドショップへ転換図る。

5. M&A事業の概況 - 海外投資の状況 -

	案件名	種類	投資年月	業種	備考
上場企業	1. China Medical Technologies Inc.	IPO	05年 2月	がん治療機器の製造販売	2005年8月 米国NASDAQ 上場 (code CMED)
	2. Wasion Meters Group Limited	IPO	05年 3月	電力メーターの製造販売	2005年12月 香港証券取引所 上場 (code HKSE 3393)
	3. Power Quotient International Co., Ltd	Restructuring	05年 6月	PC周辺機器及びメモリ等製造販売	台湾証券取引所 上場 (code 6145 TT)
	4. Carico Holding Limited (旧社名: Gorient (Holdings) Limited)	Project	05年 6月	自動車メーカーへの投資会社	香港証券取引所 上場 (code HKSE 0729)
	5. China Best Group Holding Limited (旧社名: E - LIFE)	Project	04年 12月	中国における石炭産業の再編・投資	香港証券取引所 上場 (code HKSE 0370)
未上場企業	1. China Stem Cells Holdings Limited	IPO	05年 11月	臍帯血バンク事業	上場準備中
	2. Shanghai Hantao Information Consulting Co., Ltd.	IPO	06年 1月	飲食店検討サイト運営	上場準備中
	3. Media China Group Limited	IPO	06年 1月	音楽配信	上場準備中

6. 国内企業投資のトピックス

国内企業投資

事業再生案件の進捗

中堅ゼネコンの多田建設株式会社の更生手続が終結。当社グループと不動産ファンド事業の開発型案件を中心に連携を深め、早期の再上場を目指して支援を強化。米系投資銀行との協働案件。

外食FCの株式会社プライム・リンクが株式会社フーディアム・インターナショナルを買収。06/12に純粋持株会社へ移行し、外食産業の再編の目指す。米系投資銀行との協働案件。

ストラテジック・パートナーの拡大

平澤氏と合弁会社「株式会社フィナンシア・CI」を設立。平澤氏の企業再生のノウハウ・大手の海外ファンドとのリレーションと当社グループの投資銀行事業とのシナジーを追及。

国内においても投資銀行及び有力なファンド会社との協働による投資を積極的に展開。

事業継承型M&Aへの取組

エー・アイ・プロパティーズ（不動産賃貸・管理会社）の取得。

2006年5月、自動車部品製造業であった「石野コーポレーション」株式を100%取得。

同社が保有する資産はもとより、不動産を中心とした資産保有及び資産価値向上を担う連結子会社として、当社グループのMBG事業の拡充・収益力強化を図る。

7. 海外企業投資のトピックス

海外企業投資

投資先のExitが収益に貢献

eSun Holdings Limited (HKSE 0571) の売却。

China Medical Technologies Inc. の一部売却。

本案件をはじめとして、今年度は一昨年来の投資案件のExitが続く見通し。

ストラテジック・パートナーの拡大

GEMS (General Enterprise Management Services Limited) 社への資本参加。

日本及びアジアにおけるプライベート・エクイティ事業の拡充を目指し、本年5月にGEMS社へ出資。

アセット・グループが中国の現地パートナーと共同でファンド運用会社「Asset Partners Management Limited」を設立。中国国内の中小企業へ投資を行う。

不動産への投資を開始

香港の大手コングロマリットNan Fung (南豊) グループと当社グループが共同で、中国本土の不動産に投資するファンドを組成 (当社グループにおける海外不動産ファンド事業の第一号案件)

第1弾として中国広州市の建築途中のオフィス・商業ビルを取得 (取得価格約24億円)

今後も現地有力なパートナーと組みつつ、不動産ファンド事業においてもグローバル展開を積極的に取り進める方針。

8. その他のトピックス

投資事業組合に対する会計基準

当中間連結会計期間より、「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 実務対応報告書第20号 平成18年9月8日)を適用しております。これに伴って、新たに連結の範囲に加えた投資事業組合は下記のとおりであります。

連結子会社

- ◆ 有限会社エーアイ・バリュー・パートナーズ
- ◆ 有限会社ネモフィラ
- ◆ 有限会社エンブレオ

関連会社

- ◆ 有限会社エストレア

新会計基準の適用による影響額 (単位:百万円)

B/S		P/L
		売上高 4,698
	負債 13,876	261
流動資産 20,977	42	営業利益 1,557
1,044		8
	株主資本	経常利益 1,506
固定資産 5,656		29
586	1,588	中間(当期)利益 943
		22

ホスピタリティ & ウェルネス事業の概況

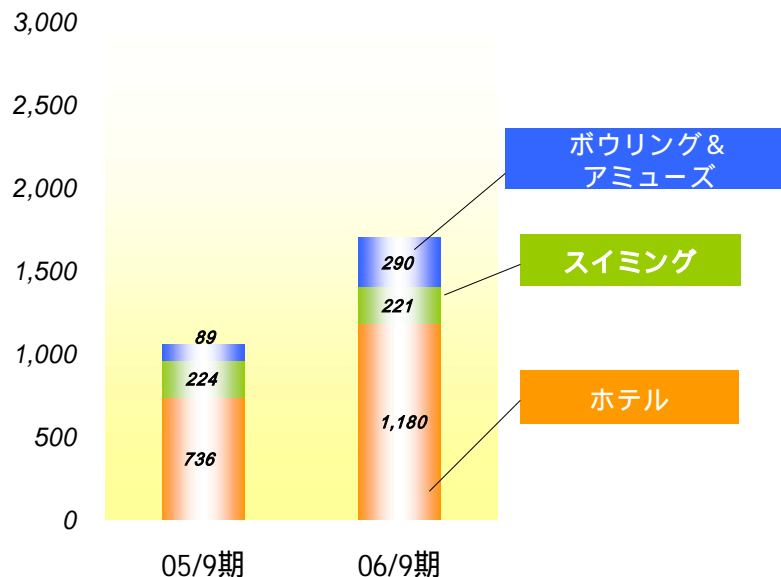
1. ホスピタリティ&ウェルネス(H&W)事業の概況

(単位:百万円)

	05/9期	06/9期
H&W事業売上高	1,050	1,692
ホテル事業	736	1,180
スイミング事業	224	221
ボウリング&アミューズ事業	89	290

H&W事業売上構成の推移

(単位:百万円)



H&W事業の概況

ホテル事業

- ホテル日航茨木大阪
堅調な客室稼動に加え、婚礼が昨年比、大幅に改善し、前年同期比で71百万円の増収。婚礼の大幅増収は、新ブランド「Beyond Bridal」が奏功。
ホテル資産はREITへ組入れ(2006年3月)
- ホテルJALシティ松山
JALグループとの2件目のホテル運営

ボウリング事業 (中部地区に2箇所、北関東に1箇所)

- 昨年7月に茨城県坂東市にボウリング&アミューズメント施設である「AMPLEX坂東」がオープン。現在、アミューズメントの機器について自社保有化を進め収益改善を図る

スイミングスクール事業 (大阪府下2箇所)

- 約5,000名の会員収入による安定的な収益貢献

H&W事業の戦略

- 事業を買収し、当社の子会社が運営を行うことでバリューアップを図り、M&A事業とのシナジー効果を見込む
- 将来的に規模を拡大させ、事業売却しExitを目指す
- その他投資先とのシナジー効果を狙う

07 / 3期業績見通し及び中期経営計画

1. 07/3期の取り組み～グローバル・マーチャント・バンクの実現に向けて

マーチャント・バンキング(MBG)事業

今期はグローバル・マーチャントの確立を目指す

- 国内及び海外での企業投資と不動産投資のバランスの取れたポートフォリオの確立
 - 国内の企業投資： 不動産投資：既投資案件のExit本格化及び積極的な投資残高の積み上げ
 - 海外の企業投資： 既投資案件のExit本格化
 - 海外の不動産投資：今年度より中国を中心とする東アジアで投資開始。第一号案件は、中国香港の大手不動産デベロッパーと共同で中国・広州の商業・オフィス複合ビルを手がける。
- グローバル・マーチャント・バンクの拡充
 - 平澤氏と合弁会社「株式会社フィナンシア・CI」を設立。平澤氏の企業再生のノウハウ・大手の海外ファンドとのリレーションと当社グループの投資銀行事業とのシナジーを追及。
 - 香港の大手プライベート・エクイティ(PE)投資会社に出資し、日本及びアジアのPE投資事業の拡充を図る
 - 国内においても投資銀行及び有力なファンド会社との協働による投資を積極的に展開

ホスピタリティ&ウェルネス(H&W)事業

今期は昨年来のバリューアップした成果を生かし、さらなる成長を目指す

- **M&A**によりホテルを始めとして新規事業分野も視野に入れて、**H&W**部門の拡充を図る
 - 昨年7月に「AMPLEX坂東」、12月に「JALシティ松山」のオペレーションが加わり、H&W事業を拡充
 - 本年3月に「ホテル日航茨木大阪」をJ-Reitへ移管。eAsset投資法人との初の協働案件

2. 07/3期の見通し

(単位:百万円)

	06/9期	07/3期見込	進捗率
売上高	4,698	8,700	54%
売上総利益	2,874	5,900	49%
MBG	1,794	3,350	54%
企業投資	848	1,950	43%
不動産投資	946	1,400	68%
H&W	1,092	2,750	40%
営業利益	1,557	3,050	51%
経常利益	1,506	2,800	54%
当期純利益	943	1,750	54%
EPS	11.6	21.3	-

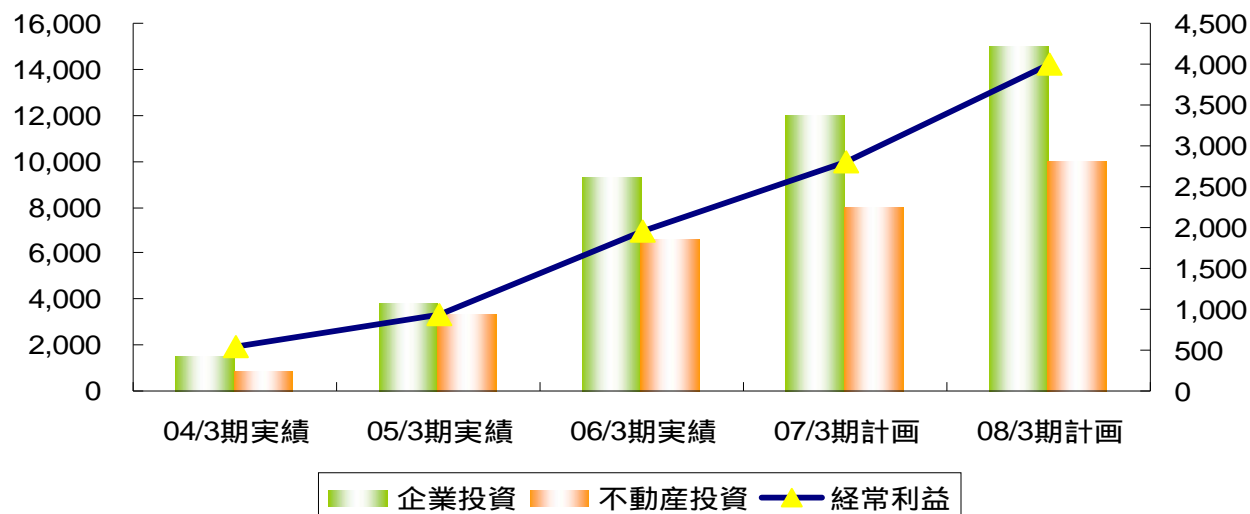
* 07/3期計画のEPSは現時点での発行済株式総数で算出(潜在株式勘案後は19.0)。

3. 中期経営計画（連結）

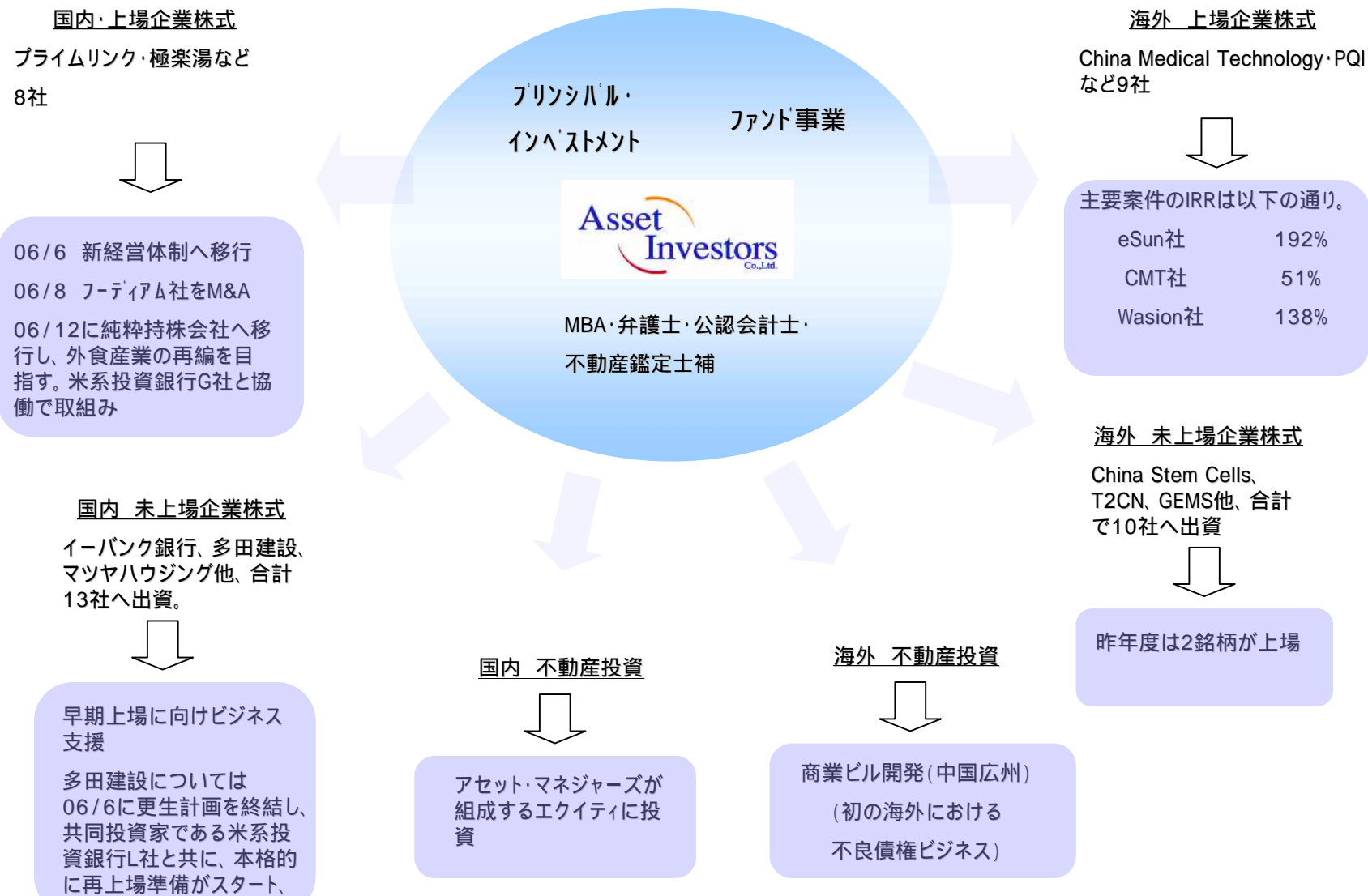
(単位:百万円)

					中期計画			
	04/3期実績	05/3期実績	06/3期実績	06/9期実績	07/3期計画	前年度比	08/3期計画	前年度比
売上高	979	2,610	8,264	4,698	8,700	+5%	10,000	+17%
経常利益	545	934	1,958	1,506	2,800	+43%	4,000	+42%
当期利益	450	586	1,159	943	1,750	+51%	2,300	+31%

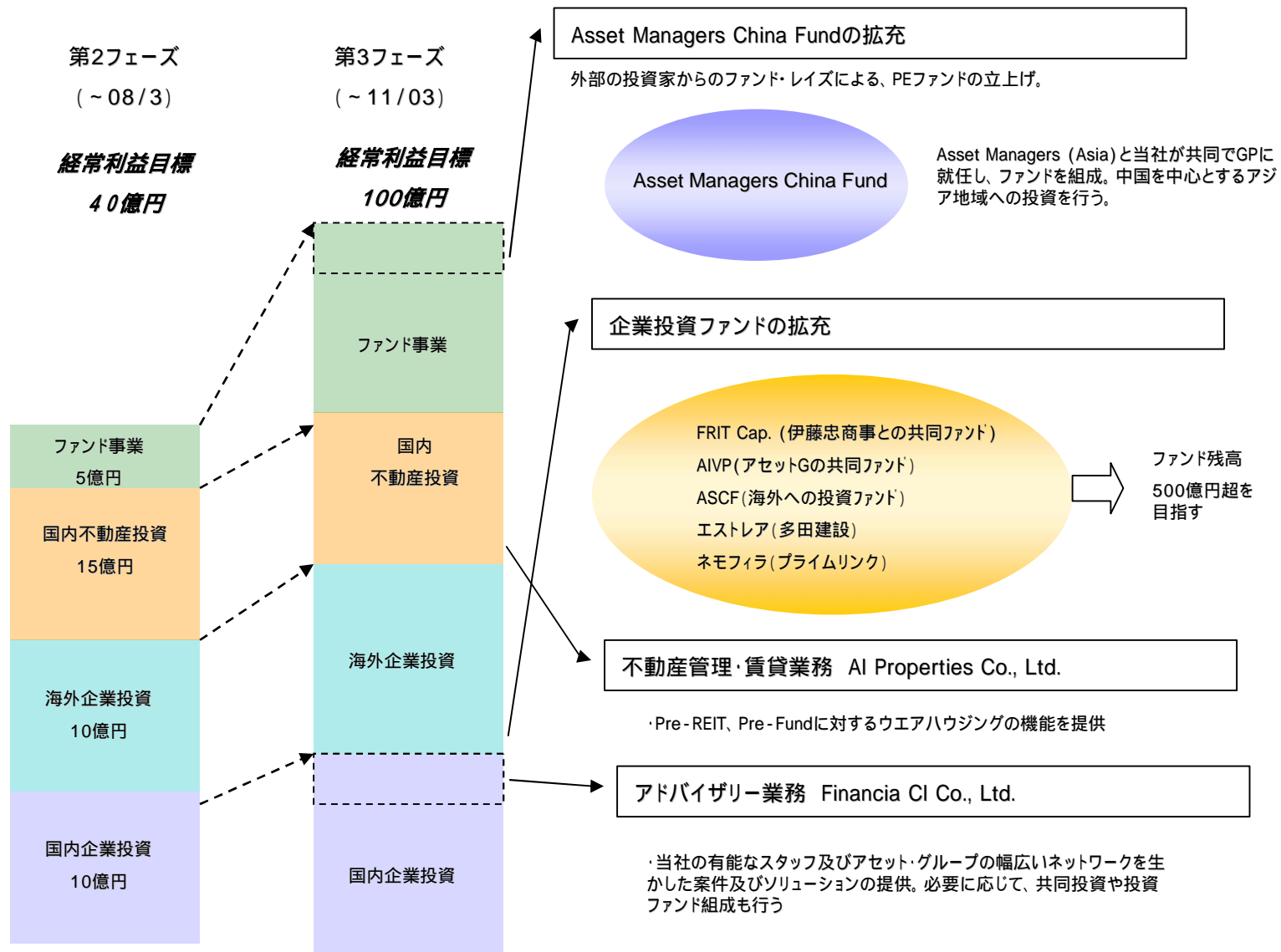
投資残高と利益計画



4. 第2フェーズの進捗 ~ グローバル・マーチャント・バンクを目指す



5. 第3フェーズへの事業戦略



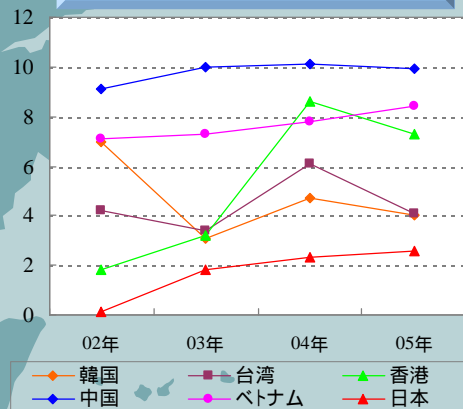
6. 当社の海外戦略

AI宣言～「日本・アジアに重点を置いたグローバル投資企業を目指す」*

*今年4月にステークホルダー向けに、公式に当社経営理念及びビジョンを発表させていただいております。



実質GDP成長率の推移



海外事業展開

・2004年8月に設立した当社グループの香港現地法人「Asset Managers (Asia)」(以下、「ASA」)をパートナーとして、プリンシパル・インベストメント事業を開始。

・ASAの投資銀行業務における経験、実績、官民に強固なネットワークと当社グループの機能、ノウハウにより着実な成果を達成。



PEファンド事業

投資銀行業務の更なる展開をすべく、外部投資家からのファンドレイズにより、本格的なPEファンド事業を開始。

中国を中心とする優良且つ成長企業の日本での上場もサポート*

不動産ファンド事業

日本における不動産ファンド事業のノウハウ、機能をアジア地域で展開することにより、当該地域における投資銀行を展開をする。

*東証は欧米の取引所再編に対応し、韓国、台湾、中国の各証券取引所と相次ぎ提携。アジアの中核取引所の地位を固める戦略を加速している。

7. Asset Managers (China) Fundの実績

投資件数	19	
投資規模	US\$2M to US\$20M (Average: US\$5M)	
累積投資コスト	Over US\$95M	
現状 (06年9月末現在)	投資額	US\$77M
	現在価値	US\$115M
売却金額	US\$50M	
IRR / Multiple *	77% / 1.7X	
保有年数	1.5 year	
売却 / 一部売却済案件数	3	

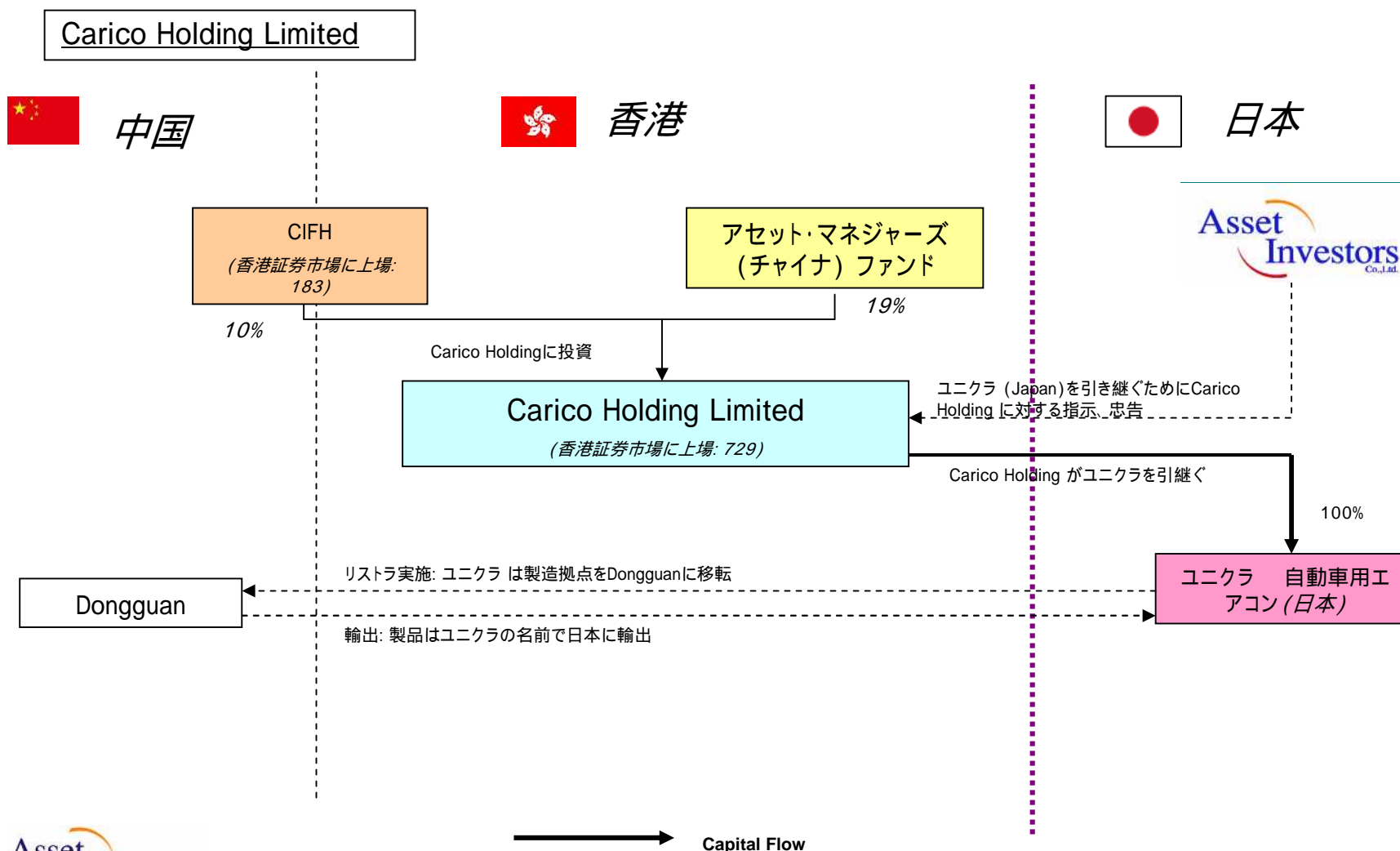
投資実績	IRR / Multiple
eSun Holding **	192% / 2.92x
China Medical **	51% / 1.94x

主要案件	IRR / Multiple
Wasion Meters *	138% / 3.88x

* Mark-to-market as at Sept, 2006

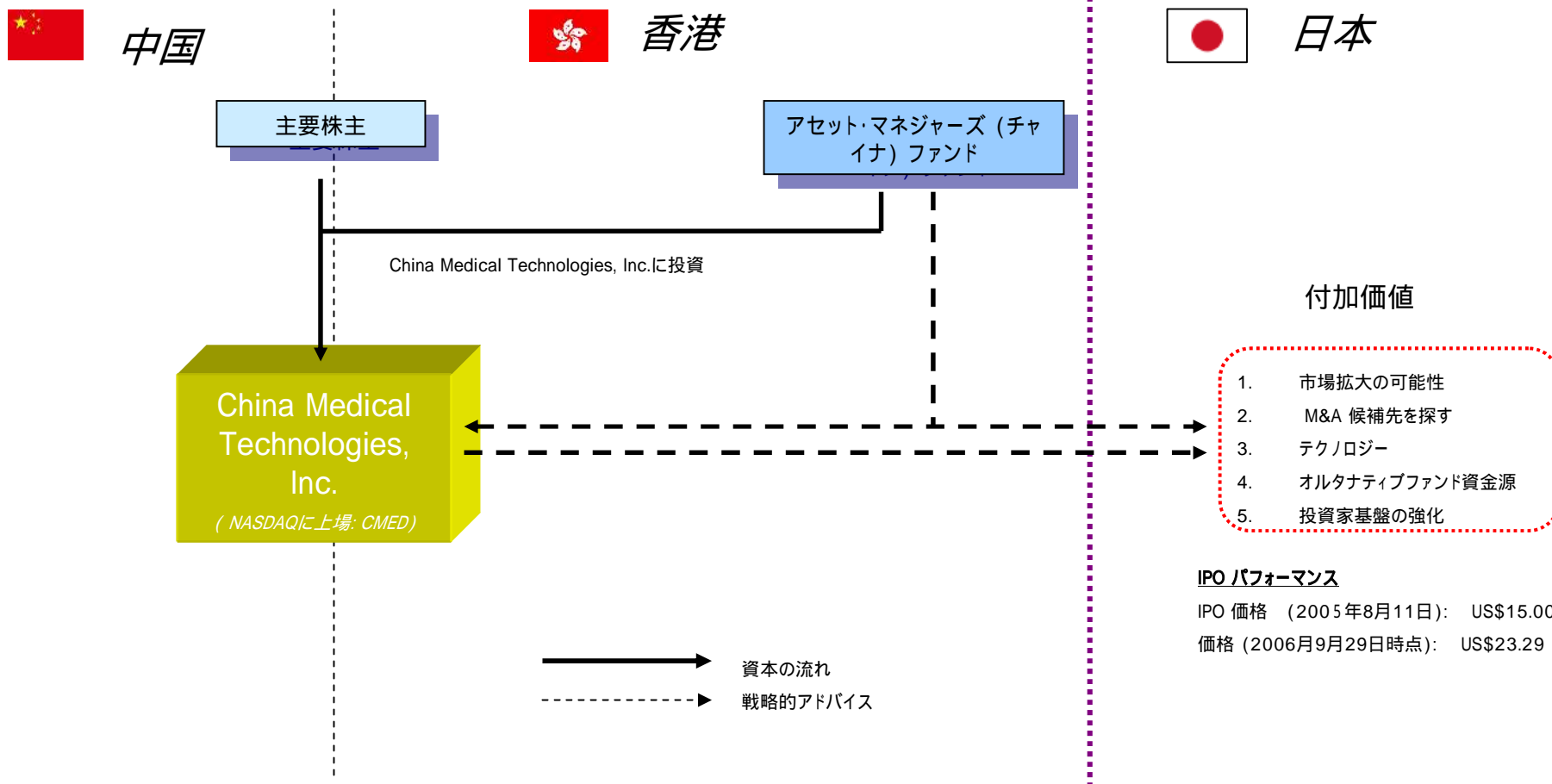
** Realized portion

8. Asset Managers (China) Fundの実績 ~ クロスボーダーによる付加価値創造型



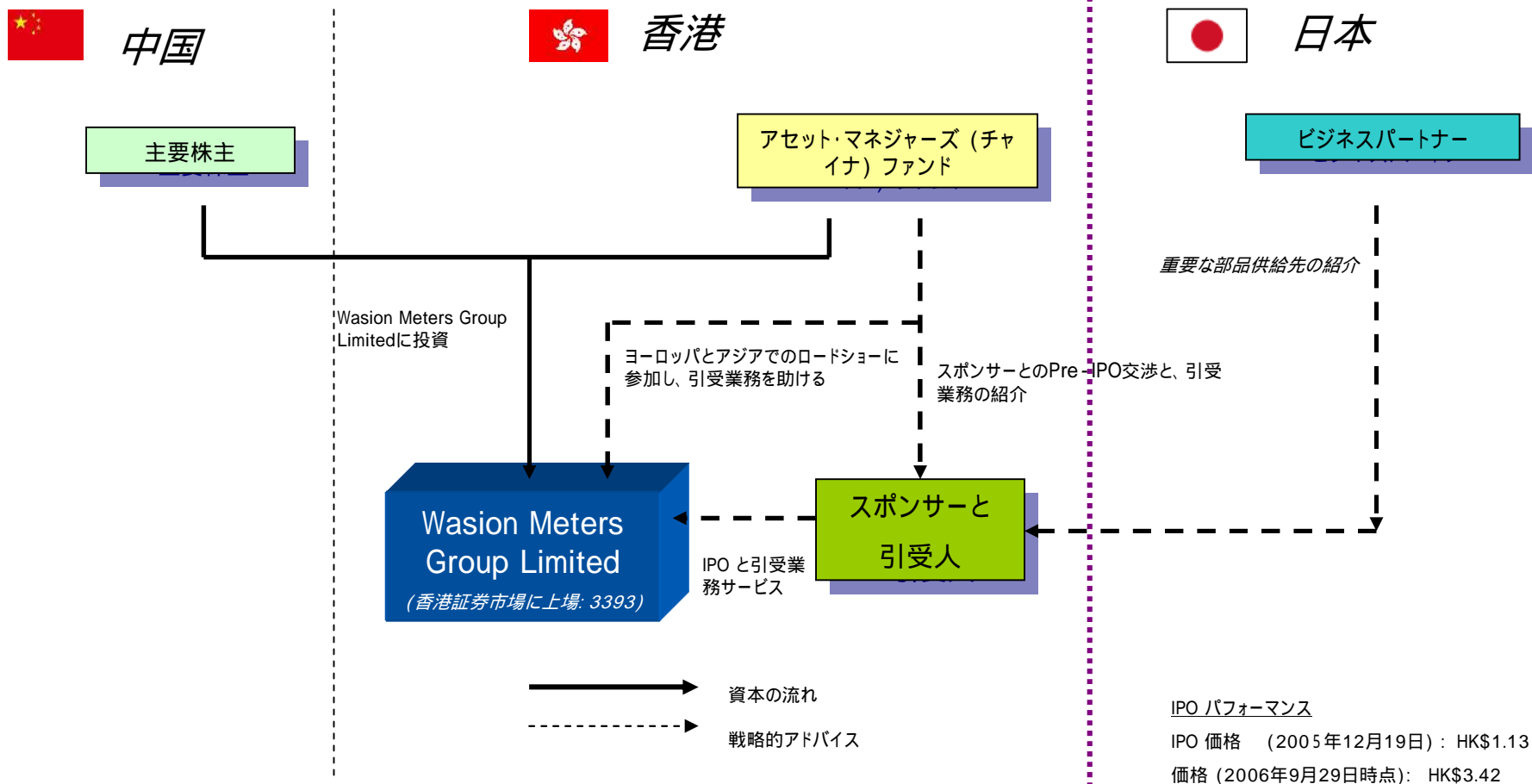
9. Asset Managers (China) Fundの実績

China Medical Technologies, Inc.



10. Asset Managers (China) Fundの実績

Wasion Meters Group Limited



参考資料

1. ビジネスモデル
2. アセット・グループのビジネスモデル
3. 国内外のストラテジック・パートナーとのアライアンスの進展
4. 会社概要

1. 当社ビジネスモデル

企業投資(国内)

国内企業投資

極楽湯、プライム・リンク、イーバンク銀行、多田建設

投資ファンド

フリット投資組合(伊藤忠商事株との共同ファンド)
AIバリューパートナーズ(アセット・グループ・ファンド)

事業再生

ホテル/スイミング・スクール/ゴルフ場/
ディスカウント・ストア

企業投資(海外)

Pre-IPO投資

China Medical Technology 米Nasdaqへ上場
Waision Meters 香港市場へ上場
上海同濟

事業支援

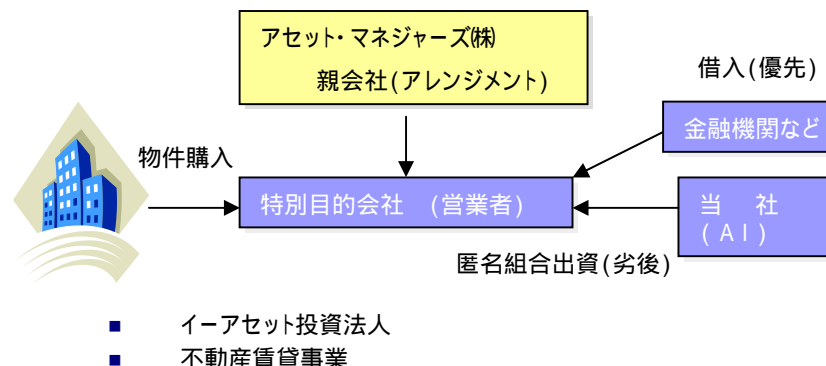
China Best Group Holdings
Golden Harvest
Upfront Technology
PQI
eSun Holdings



- ・ホテル 2(大阪府、愛媛県)
- ・スイミング・スクール 2(大阪)
- ・ボウリング&アミューズメント (茨城県)
- ・温浴施設

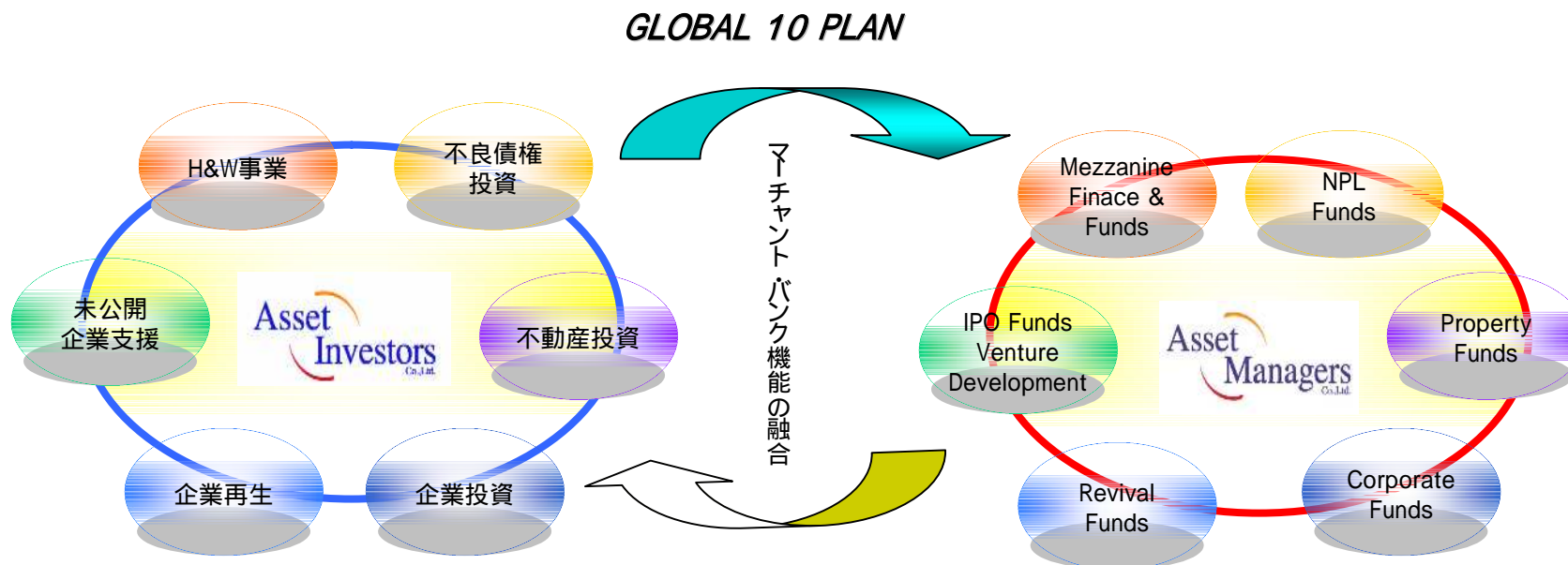


ホスピタリティ&ウェルネス



不動産投資

2. アセット・グループのビジネスモデル



Concept of business

投資家(インベスター)

マーチャントバンクとしてのノウハウ及び情報ネットワークを活用し、あらゆる投資機会を追求。

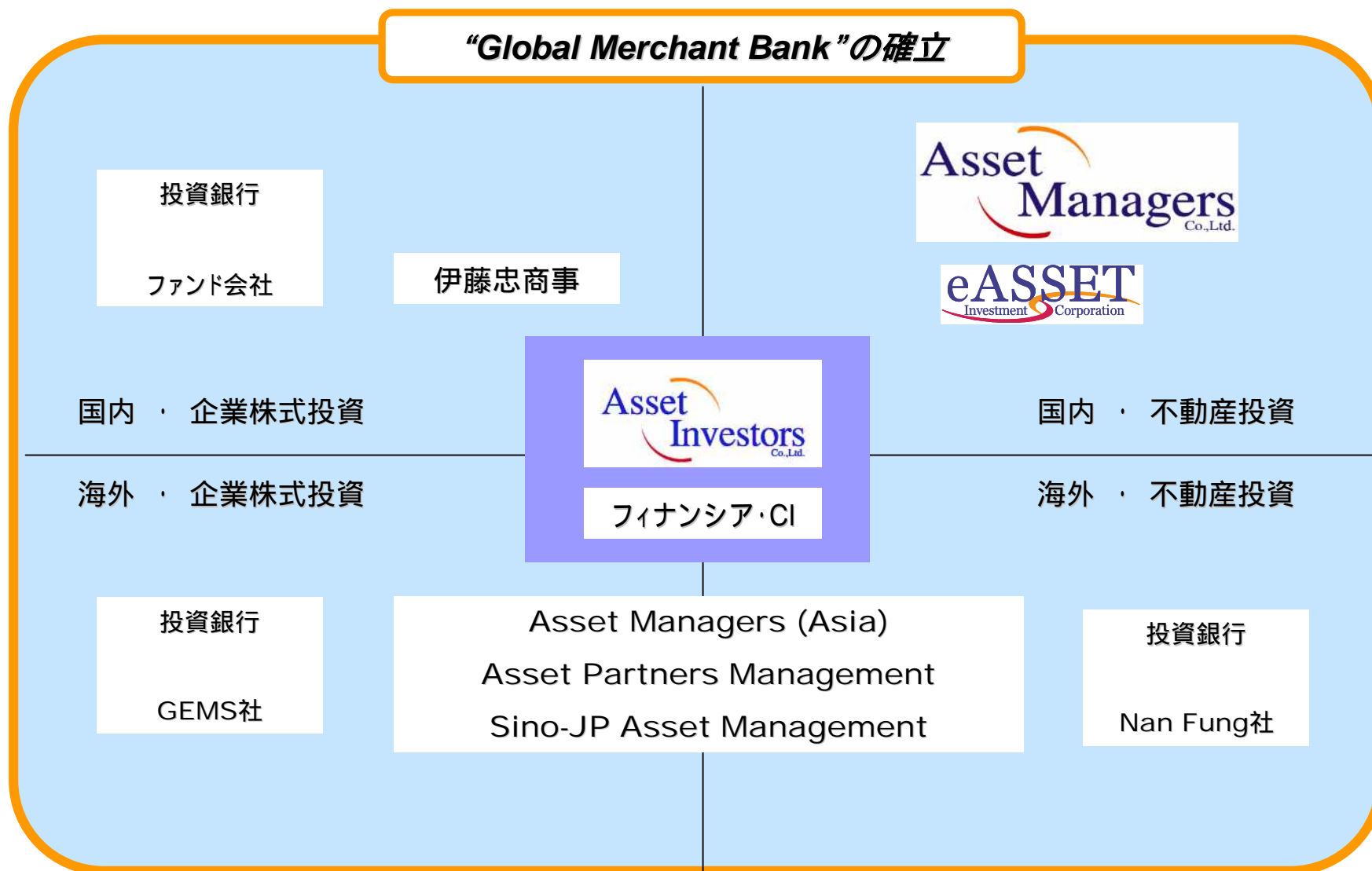
事業者(マーチャント)

企業文化・人材を尊重し、ビジネスパートナーとしての立場から、企業価値創造を支援し地域社会に貢献することを目指す。

Concept of business

マーチャントバンク(投資銀行)としての情報ネットワークを活用し、高度なスキルを有する金融・不動産のプロフェッショナルが世界のマーケットにおける様々な裁定機会を識別し、ファンドビジネスを展開。欧米系のハゲダカファンドとは一線を画して地域社会に貢献することができるマーチャントバンクを目指す。

3. 国内外の戦略的・パートナーとのアライアンスの進展



4. 会社概要

- 商号 アセット・インベスターズ株式会社
- 本社所在地 〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
名古屋支店
名古屋市千種区星が丘元町15番14号 星ヶ丘パークビル3F
- 資本金 3,719,288千円(平成18年9月末現在)
- 設立 1947年3月17日
- 代表者 代表取締役社長兼CEO 若山 健彦
代表取締役COO 森下 将典
代表取締役CIO 佐々木 博文
- 大株主 株式会社エフ・アール・ホールディング
(アセット・マネジャーズ株式会社の100%出資子会社)
伊藤忠商事株式会社
- 業務内容
 1. 不動産の売買、賃貸、管理および仲介業務
 2. 信託受益権の保有および売買業務
 3. 投資事業組合財産、投資事業有限責任組合財産の運用
および管理業務
 4. 不動産流動化コンサルタント業務
 5. 有価証券の保有及び売買
 6. スポーツ施設の経営
 7. 宿泊施設の経営
 8. 繊維事業の経営

沿革

- 1947/03 福岡市において西日本紡織株式会社を設立
- 1949/06 福岡証券取引所に株式上場
- 1961/09 大阪証券取引所第2部に株式上場
- 1967/07 都築紡績株式会社により、経営継承
- 1979/04 津島毛糸紡績株式会社と合併、新日本紡績株式会社に社名変更
- 1994/10 本社を熊本県菊池郡泗水町(現 菊池市)に移転
- 1996/06 名古屋市においてオフィスビルの賃貸業を開始
- 1996/09 浜松市、土岐市においてボウリング事業を開始
- 2002/05 国内繊維事業から撤退
- 2003/01 親会社がアセット・マネジャーズ株式会社に異動
- 2003/06 本社を愛知県名古屋市に移転
- 2003/07 **アセット・インベスターズ株式会社に社名変更**
- 2006/07 **東京に本社移転**

